

いちごいちご大会とちぎ大会に参加して

■全国障害者スポーツ大会を観覧して

中村 富頼

快晴の10月29日に、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席のもと開会式が開催されました。

私は、公共交通にて徒歩での参加で、約一時間歩いてようやく観覧席に着きましたが高齢の障害者にはハードでした。

選手入場では、麦倉団長を先頭に栃木県選手団が最後をかざりました。開会宣言や皇族のおことばなどの後、炬火ランナーを当会員の駒崎さんが堂々と務めました。

部会の仲間が全国大会の場で立派に活躍する姿を目の当たりにし、誇りと元気が得られた一日になりました。

■炬火走者を務めて

駒崎 茂

第22回全国障害者スポーツ大会「いちごいちご大会とちぎ大会」が4年ぶりに開催できたことをとても嬉しく思います。

ある日突然障害を持ち、制限されることが多く暗い日々の中で、全スポは私にもう一度夢を持たせてくれた大事な大会です。

その最高の記念すべき舞台上で炬火走者を務めさせていただけたことは、大変感慨深く心が熱くなるものがありました。

障害の有無にかかわらずスポーツを通して夢を持ち、様々な出会いが全ての方に訪れることを心から祈っています。



▶ 第1炬火走者の駒崎さん



◀ 炬火台に立っている数度さん(左)

■炬火ランナーとして出場して

数度 美幸

「夢を感動へ。感動を未来へ。」のローガンのもと、好天候で開会式が行われました。

開会式では、県障害者スポーツ協会から推薦され、炬火最終ランナーを務めました。約1万4千人の観衆の中、台風、コロナ禍で中止された茨城、鹿児島、三重の熱い思いを心に、炬火台に点火しました。

聴こえない私は、合図(指揮)を見ながらタイミングを計り、無事に点火ができたことは、すごく感激いっぱい胸が熱くなりました。ランナーをやらせて頂き、誠に光栄で、人生のレガシーになりました。

■バレーボールの選手として

小野里 真美

バレーボールに触れるのは十数年ぶりというのもあり不安が大きかったです。元デフリンピック選手の鈴木監督のご指導のもと、仲間たちと日々の練習に励み大会当日を迎えました。結果は男女(聴覚障害)ともに4位でしたが内容はとても濃厚でした。特に1回戦の徳島戦の2セット目で24対17から逆転勝ちした場面です。1人1人の丁寧なプレーと皆さんの熱い応援があつてこそこの結果だと感じました。私自身にとってはこの瞬間は忘れられない時になりました。大会に参加できたことに誇りを持っていきます。応援してくださった方ありがとうございました。



▲ アタックをする小野里さん

■STTで金メダル

桜井 亜叶

コロナという壁に阻まれた3年の間、沢山の先輩方にご指導頂き『いちごいちご大会』という障スポの舞台に立つ事ができました。

「絶対メダルを持って帰る」と家を出たものの内心不安でしたが、かつての恩師より「自分が負けだと思つたら負け、いつも通り頑張れ」の言葉を頂き僕の弱

点であるメンタル面の強化をメインに考え自分を信じ競技に臨み、金メダルという最高の幸せを手に入れました。そして今：僕に関わって下さった沢山の方々へ感謝しかありません。来年もまたこの大舞台に立つ事のできる自分になれるように今後も練習を続けもっと強くなりたいと思います。



◀ やりど、ドリなどメダル、メダル、金メダル、金メダル



▶ 会場前での桜井さん

■ボランティアに参加して

山崎 富子

42年ぶりに栃木県で開催された大会にボランティアとして参加させていただきました。

今まではボランティアをして頂く側で、ボランティアをするのは今回はじめての経験でした。

都道府県応援団として開会式、閉会式に参加する小中学生のサポートと雀宮駅でのシャトルバスの案内をさせていただきました。

参加しての感想を一言でいうと、「楽しかった。」しっかりできたかは分かりませんが、また機会がありましたらやりたいと考えております。

最後に大会関係者の皆様には感謝申し上げます。



厚生労働大臣表彰受賞

自立更生者 田中 雄二さん 更生援護功労者 中川 安彦さん

今年度、宇障連から推薦した2名が厚生労働大臣表彰を受賞しました。田中さんは障がい者の模範とするに足りると認められる者に対して贈られる自立更生者表彰、中川さんは身体障がい者等の更生援護に尽力し、その功績が特に顕著であると認められる者に対して贈られる更生援護功労者表彰を受賞しました。おめでとございます。



◆受賞にあたって

田中 雄二

この度、私は12月5日にベルサークル八重洲で開催されました厚生労働大臣表彰式典に出席して参りました。今回自立更生者厚生労働大臣表彰を授けられましたのも、多くの皆様方のご支援とご指導のおかげと深く感謝いたしております。

25歳9か月を過ぎたころ、朝、目覚めたら左目が全く見えなくなっていました。治療を始めてから間もなく、将来は失明の恐れがあると告げられました。突然の発病でしたので、闘病生活は夢の中を歩いているようでしたが、命について考える時間が沢山ありました。そのような中で、私には「ただ生き続けているだけでも命は尊い」と

感じられる瞬間がありました。人生の再出発の学びのために関わってくださった障害福祉サービスの皆様、今でも支援を続けてくださっている点訳・音訳グループの方々、今歩みを共にしてくださっている宇都宮市視覚障害者福祉協会の皆様方には、改めて心からの感謝を申し上げます。



▲自立更生者表彰の田中雄二さん

◆受賞にあたり

中川 安彦

今回の厚生労働大臣表彰の受賞に際し、ご祝辞やご高配を賜りまして、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

私は先天性ろう者として生を享け、栃木ろう学校に入学、卒業いたしました。卒業後は社会人として仕

事だけでなく、地域活動やろう運動に全力で取り組んで参りました。長い間には楽しいだけでなく、辛い、悲しい出来事も経験しました。しかし、それらの艱難辛苦を乗り越え、様々な喜びに変えてくれたのは家族や仲間との存在です。私の人生の中で最高の宝は、この多くの方々との出会いです。今回の受賞は私だけのものではない、絆を結んだ縁ある皆さんと一緒にいただくのだ。そんな気概で受賞式に臨みました。

私はいかなる時も常に意識し続けていることがあります。それはろう者としての誇りです。これからの矜持を胸に一花も二花も咲かせる所存です。

皆様、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



▲更生援護功労者表彰の中川安彦さん

表彰おめでとうございます 令和4年度表彰者

▼厚生労働大臣表彰

東京・ベルサークル八重洲(12月5日)
自立更生 田中 雄二(視覚)
更生援護功労 中川 安彦(聴覚)

▼第28回栃木県民福祉のつどい

栃木県庁昭和館(8月22日)

▽栃木県知事表彰

自立更生 小野 和良(視覚)

▽栃身協会会長表彰

自立更生 永田 義美(視覚)

更生援護功労

点訳サークル「かたつむり」(視覚)
手話コーラス「瞳」(聴覚)

▼第16回宇都宮市民福祉の祭典

宇都宮市役所(11月23日)

▽宇都宮市長表彰

自立更生 五十嵐典子(視覚)
大塚 達夫(聴覚)
小森 邦子(聴覚)

▽宇障連会長表彰

自立更生 高橋 一枝(視覚)
境澤 洋子(聴覚)
支援功労 点訳サークル「スイートピー」(視覚)

齋藤 紀子(事務局)

グラウンド・ゴルフ大会

10月16日「わかくさひろば」

昨年、天気の急変により途中で中止となってしまったグラウンド・ゴルフ大会ですが、今年は秋晴れのなか開催することができました。約40人の会員の皆さんは2コースに分かれ、和気あいあいとしながらも真剣にプレーしていました。なお、上位3名には、トロフィーと副賞が贈呈されました。



ハッピーフェスティバル 12月3日「ライトキューブ宇都宮」

今年のハッピーフェスティバルはオープンしたばかりの宇都宮駅東口交流拠点施設「ライトキューブ宇都宮」で行いました。「駅東口整備事業」の講演後の自由見学では「宮の泉」で宇都宮の美しい水道水を汲んだり、交流広場「宮みらいライトヒル」の散策を楽しんだりしました。

コロナ感染予防対策のため、会員のみの参加で会食もない開催となりましたが、恒例のビンゴ大会が復活し、盛り上がりました。



視覚障がい者向け 「福祉機器展示会2023」を開催します



▲ 第1回の様子

宇障連では2018年の第1回開催以来、3回目となる展示会を企画しています。(第2回は新型コロナウイルス蔓延のため中止)

皆さんにご覧いただける主なものは、点字ディスプレイ、拡大読書機、ポータブルレコーダー、音声案内機、白杖、眼鏡類、パソコンソフトなどで10社を超える企業の皆さまに出展いただく予定です。

視覚障がいのある方だけでなく、支援に関わる方、一般の方のご来場もお待ちしています。

- 日時 2023年3月5日(日) 10時から15時
- 会場 宇都宮市総合福祉センター10階 大会議室

わく・わくショッピング



12月9日、宇都宮市役所1階市民ホールにて約3年ぶりとなる特別販売会を開催いたしました。密を避けるため、参加出来たのは抽選で選ばれた11施設となりましたが、

十分なスペースを確保しての開催で、訪れた方は安心してたくさんのお買い物をしていました。次回は2月の予定です。詳しくは「わく・わくショッピング」のSNSをご確認ください。
また、国体・障スポ応援企画として実施した「いちごde応援プロジェクト」では、各施設が趣向を凝らしたいちごをモチーフにした製品が18施設から50種類以上も販売されました。とちぎテレビでも取り上げていただき、大会を視察に来た県外の方からも好評でした。

**わく・わく
いちご de 応援
プロジェクト**

※ 社会福祉法人宇都宮市障害者福祉協会、宇都宮市福祉協会の協賛

今後の予定

- 2月11日(土) ボウリング大会
- 3月4日(土) 理事会
- 3月5日(日) 福祉機器展
- 3月25日(土) 評議員会

本会報はボランティアの皆さんの協力で点字版、音声版も発行しています。
点訳 点訳グループ
「かたつむり」の皆さん
音訳 デイジー全文訳センター
「アクセス」の皆さん
ご協力ありがとうございました。